

国立大学法人 大阪大学が発行するサステナビリティボンド
「大阪大学 生きがいを育む社会創造債」への投資について

メディケア生命保険株式会社（社長 野村洋一、以下「当社」という）は、このたび、国立大学法人大阪大学（以下「大阪大学」という）が発行するサステナビリティボンド（第1回 国立大学法人 大阪大学債券、以下「本債券」という）への投資を行いました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

大阪大学は、我が国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最先端の学術研究の成果を社会に還元し続けています。本債券への投資資金は、大阪大学の中長期的なプランである「OUマスタープラン2027」のもとで実施するキャンパス等の改修・更新及び先進的な教育研究の整備に充当され、社会との共創を通じて「生きがいを育む社会の創造^{注1}」の実現に繋がります。

本債券への投資は、「すべての人々へ包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する」、「強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る」、「都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする」という観点から、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注2}の達成に貢献します。

2022年3月、本債券発行のための枠組みであるサステナビリティボンド・フレームワークは、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するサステナビリティボンドガイドライン2021等に適合する旨、日本格付研究所（JCR）より最上位評価であるSU1(F)を取得しています。

当社は、経営理念として生命保険事業を通じて豊かな社会の創造と発展に貢献することを掲げており、資産運用においては、国連が提唱した持続可能な開発目標「SDGs」も意識しつつ、運用収益の向上に取り組んでおります。本債券への投資はこのような枠組みの一環として、社会貢献に資するものと考えています。メディケア生命は今後ともSDGs債への投資を継続的に実施することにより、持続可能な社会および「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」の実現に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

メディケア生命保険株式会社 経営管理部

Tel:03-5621-3367

<本債券の概要>

発行体：国立大学法人 大阪大学（R&I 格付：AA+、JCR格付：AAA）

発行額：総額300億円

年限：40年

注1 大阪大学で育まれる「知性」、「英知」を結集して、科学技術・学術、医療制度、経済システム、企業等の組織、コミュニティ、個人の生活や価値観等を抜本的に転換する新たな社会の仕組みを創り出すことで、個々人が社会で活躍できる寿命を延伸させ、あらゆる世代がその多様性を活かすことで社会を支え、豊かで幸福な人生をすべての人が享受できる社会を実現すること。

注2 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上